



## 【 県議会でマル福拡大に関する一般質問を傍聴 】

9月7日、8日、多数の家族会会員の傍聴のなか、自民党磯崎議員が大井川知事に、公明党村本議員が森川保健医療部長に、それぞれ精神障害者へのマル福適用の拡大についての考えを質しました。

これらは、マル福1級適用につながった平成30年9月の定例会以降初めて取り上げられたものです。就労が難しい手帳2級所持者へのマル福適用が未だなされておらず、受診時の3割負担はあまりにも重い、2級までマル福になると関東で初になるとの質問に対し、2級は中度であり他障害との公平性を欠くこと、また国の自立支援医療費制度もある中、慎重な検討が必要であるが、精神障害者は就労が厳しく経済的に苦しいことや、県連(家族会)からの要望もあり、財政を見て今後積極的に検討して行くとの答弁を頂きました。

また、村本議員の再質問にて、「障害のある人も暮らしやすい社会」を目指す上で、特に健康に関する経済的支援がわかりやすく一番必要な支援ではないかとの考えも示されました。

マル福の窓口は各市町村。「今後積極的に検討する」過程をしっかりと見守って行きます。(竹之内啓吾)

## 【 ずーっとエアコン 】

今年の夏は本当に暑かった。会う人、会う人「暑いね」。「その言葉しか出ないね。いつになったら涼しくなるんだろうね」。

私の実家があった所は、今年最高の気温40度を記録しました。福島県伊達市梁川町、天気予報の時間に毎年何度か、今日の最高気温は・・・と紹介されます。娘が住んでいる会津若松も毎日38度位の日が続き、どちらも盆地なので暑い。妹が住んでいる秋田。白神山地に近い所なのでいつもは涼しい所ですが、今年は日本海側はフェーン現象とかで、暑くてずーっとエアコンつけっぱなしだよ、と言っていた。

世界中が異常気象、地球沸騰時代。私は原発反対、ささやかな抵抗として何かを我慢しなくては、と長くエアコン無しで過ごしてきたが、4年前に夫が家で横になっていることが増えたのでエアコンを入れた。3年間はそれほど多くは使わなかったが、今年の夏は日中も寝る時もエアコン無しでは過ごせなかった。エアコンを付けていて本当に良かった。

まだまだ暑い日が続きます。体調管理に気を付けて暑さを乗り切りましょう。ささやかなぜいたくとして、大好きな桃を、息子と半分こして毎日食べています。実家があった所は桃の産地なので、頂き物が多く、買っても、少し柔らかくなったものは安く、一日に何個も食べていたのが、こちらでは高く、思い切り沢山食べられないのが残念です。

エアコンから出てくる水は溜めておいて、植木の水やりにも利用しています。(R・D)

## 【 私は9月で傘寿(80歳)を迎えました 】

生れて、今日までの年月顧みるといろいろな出来事が思い出されますが、総体的に幸せな日々だったと思っています。昔を顧みますと、終戦直後の私はまだ2才位でしたが、食べ物がないとか、そう言う苦労はしていませんが、その日その日を何とか生きていく日々だったと記憶しています。そこからの(次ページに続く)

## これまでの主な活動(7-9月)

月日	項目	場所
7月1日	定例会	市民活動センター
7月5日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
7月10日	県南かれん	総合福祉センター
7月15日	婦人茶話会	総合福祉センター
7月27日	県連 理事会	水戸精神保健福祉センター
7月29日	役員会	市民活動センター
8月2日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
8月5日	定例会	稲敷市新利根公民館
8月24日	県連 理事会	ウェブ ミーティング
8月26日	役員会	市民活動センター
9月2日	定例会	市民活動センター
9月6日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
9月7日	県議会傍聴	茨城県議会議事堂
9月16日	婦人茶話会	総合福祉センター
9月28日	県連 理事会	ウェブ ミーティング
9月30日	役員会	市民活動センター



日本の発展は目を見張るような日々でした。わが家に洗濯機が来たのは私が10才位の頃でした。その洗濯機で洗濯物を乾す時には、ローラーに洗濯物を挟み回すと「のしイカ」のようになったのを乾していたのを記憶しています。

母はガスコンロの上に「金たらい」を乗せて石鹼を入れて煮洗いしていたように記憶しています。それから白黒テレビ、息子が生まれた頃カラーテレビと、庶民の生活は目まぐるしく変化していきました。そんな文化生活を享受して今日に至っていますが、今はその高度経済成長の影響を受け地球温暖化になっております。その結果、この猛暑、さらには線状降水帯とかが現れて来て各地に豪雨災害がもたらされ将来の地球がどうなるか心配です。この先、生きていかなければならない子や、孫たちは気の毒に思えます。こんな世の中で、今思うことは、人間の英知を駆使して穏やかな気候、戦争など無い世の中になるよう願うばかりです。2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」(SDGs)世界を変えるための17の目標を 私も日常生活の中で少しでも寄与出来るように心がけ、残りの人生を生きていきたいと思うこの頃です。(R・K)

### 【 こころの病からの救い 】

娘が統合失調症と診断されて約20年。夢中で過ごしてきましたが、自分に余裕ができてくると考え事が多くなりました。

数年前に家族会に入会していろいろ勉強させてもらい、茶話会での話など、とても感謝しています。

書庫の本を何冊かお借りして読んでいましたが、中山周(ちか)さんの「こころの病からの救い」は忘れられない1冊となりました。

3人のお子さんが極めて稀な病、有棘赤血球症に伴う統合失調症舞踏病にかかり、次々とお亡くなりになった。おさない頃から全く手が掛からなかった次男の佳彦さんの不登校から始まり、過去の佳彦さんとは完全に人格が変わって日に日に激しさを増す暴力の日々、同じ年に長女あやさんの自殺未遂、それからは何も言わず、何も食わず全く人が変わってしまったとのこと。

その半年後に長男玄一さんの発病。兄弟3人の凄まじい生活が始まり、10年くらいパジャマに着替えることもできずいつも臨戦態勢で神経を張り巡らせて生活していたお母さん。同じ病名でもそれぞれの症状はまったく異なっていて、医学用語に疑問を感じているとのこと。

お子さんひとり一人のメモなり記録が無ければ書けない内容にも、勉強していた姿にも、そして母親の強さに衝撃を受けました。(T・K)

### 【 毎年変わらぬ風景 】

6月のある日。本当に時の経つのが早いとつくづく実感する日々です。

私は通勤で龍ヶ崎市駅を利用しております。毎年つばめの巣が複数作られます。今年も朝早くから親鳥がものすごいスピードで飛び回っています。

子供達のために一生懸命働いているのを見ながら、電車を待っています。

帰りは、バスを待つ合間に巣があるところを見上げると、子供達が狭い巣から顔を出して、親鳥が戻ってくるのをジーッと待っている様子はものすごくほっこりします。元気に育つとエールを送っています。

この時期ならではの光景を毎年楽しみにしております。まもなく巣立ち。又来年もこの光景を見られることを一つの目標に、私も一生懸命頑張ろうと心に決めて飛び回りたいと思っています。

追伸 この投稿が載るころには子供達は巣立ち、家主のいない巣を見ながら、ありがとう、そして子供達に頑張れ！！と。(Y・F)

### 【 編集後記 】

10月は精神保健福祉関係のイベントが目白押しで、当会、当事者の方も一緒に参加してまいります。この機会に、お体と時間が許せば、学び合い、働きかけの活動を多くの皆様が体験できることを願っています(K・T)

### これからの予定(10月-)

月 日	項 目	場 所
10月4日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
10月7日	定例会	河内町中央公民館
10月14日	みんなねっと埼玉大会	Rai Boc Hall(市民会館おおみや)
10月15日	ふれ愛広場、障害者スポーツ体験会	大昭ホール、同広場
10月18日	婦人茶話会	総合福祉センター
10月25日	精神保健福祉フォーラムin水戸	ザ・ヒロサワ・シティ会館
10月28日	役員会	市民活動センター
10月29日	ゆっくら評議員会	ゆうあいワークイン
11月4日	定例会	利根町布川地区コミュニティーセンター

